

遊び、ヒマ潰しの精神と實際

天野屋利兵衛

人生僅か五十年

仕舞のうちに此の世

夢幻のごとくなり

付んで文句がありますな。死ぬも一瞬、生きるも一瞬、なんと言葉も。一瞬は一定ぶしかかな。マ、マ、どうでもよろしい。こんなことに二だね、ミても。人生僅か五十年、夢幻のごとくなり。でありますからな。

こんな文句がフツ頭の中に湧いて出たのも、今回。遊世の特集が。遊びヒマ潰しのせい。人間何にをやっても僅か五十年、終えることが死ぬまでのヒマ潰し、遊び、どうも運命が付いたわけあります。

しかし、これは私一人の思い入れ、中には遊びなんぞ関係なし、俺は忙しくて、働き抜く

近くの建設現場とか、高速道路づくりがいいようですね。アケビを探したり、柿を探したりで結構楽しいものがあります。

オシヤベリの方は、怪が騒う。という月が賑やかになるのはあまりないようでありまして、大概一人か二人シヤベリがいって、その人達を中心にボツボツと話が進行する。という形になるようあります。

そんな現場のオシヤベリの中で、二人は話をしている人がいました。

その時はどう言うわけか、デスウの入。その袋を封を知らずに持つと、後らためたら何々をする、なんて事に話題が集中していったのでありますが、その人の曰くに、二、三日仕事に出たら、ドヤ代までとめてね、エINSTANTラーメン買ひ込んで、ドヤボケー。としてる。

いやあ、結構な言葉であります。これをホモ、ルーデンスの極致、遊ぶ人の鏡であります。ヒマを求めてヒマつぶしうるを求め

のが趣味だという方もおられることとあります。しょう。ン、まあ、幼くのが趣味ということは、趣味も遊びの一種でありますから、働くのがその人にとってはお遊び、ということになります。まさに人みなホモ、サピエンスへ知性人ならぬホモ、ルーデンスへ遊ぶ人してあります。

現場で

現、遊びヒマつぶし。は人により色々あるんじゃないでしょうか、現場の星の輝みや休憩の時に、アラブ現場の周囲を歩きまわるとモヒマつぶしなら、オシヤベリするのモヒマつぶしであります。

現場の周囲を歩きまわるとは、やはり山の

ず、ただただボケーッと。まあ、たぐ立派なものがあります。その精神こそ大切にしたいものがあります。なにせ凡人、迷ひ多きものの常としてガサガサゴソゴソ右往左往、ヒマつぶしの策を追い求めるのであります。

読む

で、ガサゴソヒマつぶしの策を考えて、いや考える以前に自然と手が伸びてくるのが矢が、新聞、週刊誌の類であります。

マイクロボスに乗り込んで動きだすまで、まだ現場に着くまで、新聞を眺めている人は多い。中には一旦乗り込んで、ちよっど新聞を眺めてくると、という熱心な方もおられます。朝日、読売の一般商業紙、スポーツ新聞、石油やニック以乗導く、たとはいいいながら、隅から隅までズラズ、ズラァイと読むと、かなりの時分が潰せるものであります。

その上、読んで身に付けた教養は、。自民党もロッキードでさ、ぱりやな。とか、。選

坂はのの高級が優勝するに決ま。てるがな、
はんせ投手が振舞や。とか、色々ヒマつぶし
のオシヤベリにも流用出来る。あるいは昨日
のレース結果なども毎日新聞に入れ、その資料
の着積によ、明日は大きく勝とうと言う大
きな夢を育て、今日の稼ごとそれが見込める
明日のヒマを、有効に活用する道は拓くなど
など、そこから多くのヒマつぶしが派生して
くるという誠に有難いものであります。

この手の、目と腹を使、このヒマつぶしで
も、と有難く重宝あらたけなのは、新聞、雑
誌より元手がいらしますが、行く所へ行けばト
タカお喜んで貸してくれるハズー金日成、モ
沢東、マルクス、レーニンなどの読破を成り
まして。はんせこれらの本は、大学の先生
達でさえへ、ヒマつぶしに活用、口角アワ
を吐いて楽しんでる代物でありますから、
矢張り読むことだけかかりのヒマが潰せ、そ
の後、知生達と同じ様におあつちやなりやこ
うなものない、そうかとい、マアもうものない。

だ。た。と。か、石屋の手元だ、た。な。と。で、腹が
すこぶる振舞っている時が、玉がピニピンはね
ず、瞬時確率も高いようです。

外へ出たついでにアラアラと、三角公園な
んかを散歩するのモアにいいものであります
な。時には、お仲者の皆さん、皆さんの血と
汗の結晶を最大限の資金源としないうちにし
ましよう。などと訴えていろいろ面成暑のホリッ
んの熱湯が臭られることもあります。

しかし、あんなもの見てもあまりヒマつぶ
しにはなりません。相当知られるのが遅小
ろだけ損であります。もし、ホリッさんが踏み
込んできた時、前から狙ったレースが走りし
て勢を屈しそこね、それがズバリ万馬券、と
いうようなことにもなれば、これはもう、
怒り心腹に突し、石の三つ四つも投げたくな
うなというものであります。

マ、それはそれまた楽しいものでありま
す。石が飛ぶ、ウー、という喊声、歓声、
走る、暴動有理、ワッショ、ワッショ、正に

はんて親子 一生楽しめる。そればかりでは
なく、インテリゲンチヤの気分も味わえます。
うまくすると革命の英雄になるものに満足され
て、大活躍を果しめるかも知れません。

はんせ、遊ぶ、ヒマつぶしというものは、
とてつもなく複雑な馬鹿馬鹿しいが、それと
もとてつもなく難しい大が楽しめるものであ
りまして、この革命劇は困難の最たるもので、
世界革命なんぞに似ています。なにがなに
やらおかしな代物であります。それが政に
まじり魅に満ちたものであると申せましょう。

街頭へ

ここいらで、室内から街頭へ、と言うこと
で身体を動かすヒマつぶしに。

も、ヒマも大衆的な運動は、親指の運動へバ
チンコンとあります。これはあまりにも大
衆的でありますので、多量に弄するとはや
めです。各自実験に励まされたい。ただ一つ、
私の体験からいわせてもらえば、前日張り方

血潮が内躍る大スバクタク、ロマンであり
ます。な。な。こういう場合には、決して毛さん
や金さんなんかもちだしたりして「最下層の
お若者蜂起せよ」。なんと言ったはなりません
ぬ。ハイデマエ、これはよろしい。

しかし、なんぞですか、野坂昭如氏の小説
にはあります。な。な。運動師の面々は最近ど
うなっているのでしょうか。ここのとこ
んと御無沙汰のようでもあります。なにが
動にかかっているのでしょうか。その話を教えて下
さいませ。

どうもいけません

ここまじくれば、もうオシマイ、ですか。
当初の、ヒマを求めたヒマつぶしの勢を求め
ず、の理念から一歩ならず、二歩、三歩、今
やま、たかたか離れ、とうとう他人様にな
る程のようにな、てしまいました。どうもい
けません。

遊ぶ、遊ぶといいながら、。どうもいけ
ませぬ。

この「どうもいけませぬ」という感じは、
七月一日にも感じたものと同じものがあり
ます。

この日、夕々のエスネと三曲公園の周囲
はノミ屋、薺り方の花盛りでありました。馬
車や車道を戻ったり、千ヨボイ千五やったり
しに後を、千ヨトユーヒーでも思つて三
角公園から釜生坂の方へ歩いていきますと、突
然、バマーンと何やらシャッターにぶつかっ
た様子。なにが知らん、と近づいて行くと、
血がタラタラと流れておりました。刺された
方は、長丈天にも、俺がお前のどこをケがさ
せたいうんや、と当然なる抗議をしておりま
した。刺した方は終始無言。見てる人達も無
言。

しばらくして、刺した人は釜生坂の前を通
つて西の方へノッサリ、ノッサリ歩いて行き
ました。私も同じ方へ行きかけていたのゝ、

その人に氣をつかいながら、ゴソゴソと並ん
ぶ十歩ぐらい歩いたのゝありますよ。

どうもいけませぬ。

人生僅か五〇年

化飯のうちにはぶれば

夢約のごとくなり

とは言葉、を返ります。

私にとつて映画二本分のヒマ潰しが、刺し
た人、刺された人には何に当たるのか、その
人達にとつてどのような意味をもつのか……。
いやいや、私もにまつぶしに過ぎで、いさ
さか主義者流の理屈、ほさが壁につくように
ありますな。

無展望 無目的 ヒマを求めて ヒマつぶ
しを求めず。

二れが 俺らの人生で
は、歌の文句か。